

岡井隆の歌業

2021.6.10(木) - 7.25(日)

10:00~17:00 ※月曜休館
文化のみち二葉館 2階展示室



没一年を偲んで

トークイベント

2021.7.4(日) 13:30~15:00

講演：第一部/「岡井隆の歌集」加藤治郎(歌人)
第二部/「岡井隆の後ろ姿」大辻隆弘(歌人)

会場：文化のみち二葉館 1階大広間 ※入場無料(要入館料)
定員：30名

※6月18日(金)10時~ 文化のみち二葉館に電話申し込み
※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止または変更になる場合があります。

主催：又代のみち二葉館【名古屋市田川上産館印】
入館料：一般200円 中学生以下無料(各種減免あり)
〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目23番地
Tel & Fax 052-936-3836 <https://www.futabakan.jp/>
後援：中部日本歌人会、中日新聞社 協賛：短歌研究社
協力：未来短歌会、名古屋市鶴舞中央図書館

岡井隆の歌業

没一年を偲んで

2021

6.10(木) - 7.25(日)
10:00~17:00

文化のみち二葉館
2階展示室

昨年7月に逝去された歌人・岡井隆氏を偲んで、これまでに刊行された歌集や作品、原稿を展示します。

岡井隆氏は、昭和3(1928)年に名古屋市で生まれました。小学校からは東区主税町で過ごし、旧制愛知一中(現・愛知県立旭丘高等学校)、旧制第八高等学校に通いました。18歳でアララギに入会、医学部在学中には歌誌「未来」の創刊に参加します。その後は、内科医として勤務しながら前衛短歌運動を推進し、塚本邦雄、寺山修司らとともに若くして現代短歌界を牽引しました。

歌集「禁忌と好色」で退空賞、「親和力」で斎藤茂吉短歌文学賞、「ウランと白鳥」で詩歌文学館賞を受賞。中日新聞や東京新聞では「けさのことば」を長年にわたって連載しました。平成5(1993)年に宮中歌会始の選者に就任。これまでの功績・歌業から、平成16(2004)年には旭日小授賞を授与され、平成19(2007)年からは宮内庁和歌御用掛を務めました。

今回の企画展では、氏が試みた斬新なテーマや作品を振り返りながら、その生涯や歌業についてご紹介します。



『宮殿』(沖積舎)



『禁忌と好色』
(不識書院)



『ウランと白鳥』
(短歌研究社)

トークイベント

2021年7月4日(日)
13時30分~15時

第一部では、岡井隆氏のこれまでの作品や歌業について、第二部では、氏の人柄や逸話についてそれぞれお話しいただきます。

講演：第二部「岡井隆の歌集」

加藤治郎(歌人)

第二部「岡井隆の後ろ姿」

大辻隆弘(歌人)

会場：文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料)

◆定員：30名

※6月18日(金)10時

文化のみち二葉館に電話申し込み

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止または変更になる場合があります。

加藤治郎(かとう じろう)



1959年、名古屋市に生まれる。1983年、未来短歌会に入会、岡井隆に師事。

事。毎日歌壇選者。歌集に「サニー・サイド・アップ」(第32回現代歌人協会賞)、「昏睡のパラダイス」(第4回寺山修司短歌賞)、「Confusion」(『混乱のひかり』)など。

大辻隆弘(おおつじ たかひろ)



1960年三重県生。1986年、未来短歌会入会。岡井隆に師事。現在「未来」編集発行人・選者、現代歌人協会会員、現代歌人集合理事、中部日本歌人会副委員長、歌集「水郷」「アブス」「行幕抄」など、歌書「岡井隆と初期未来」「アララギの音聲」など。

主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

「ドニチエコミっふ」「一日乗車券」

を利用してご来館の方は入館料割引!

一般200円→160円



名古屋市東区榎木町3丁目23番地

Tel & Fax 052-936-3836

<https://www.futabakan.jp/>

交通のご案内

●市バス「新栄」→トバス「二葉館」下車

●市バス「新栄」下車、北に徒歩2分

●市バス「山崎」下車、南に徒歩5分

●地下鉄有線「高島」下車、2番出口より北に徒歩10分

●名鉄東山線「山崎」下車、南に徒歩12分

※駐車場に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

